

お客様が喜んでくれるから、楽しい!

## キーパーコーティングは、女性に適した素敵なシゴト

女性の社会進出がすすむ中、男性の職業といわれてきた医師、弁護士、自衛官、警官などにも、女性の活躍が多く見られるようになりました。ガソリンスタンドでも同様、多くの女性スタッフがいきいきと働いています。調べてみると、キーパーコーティング技術1級資格取得者は全体の約10%を占めています。先だっで行われた「第3回 2016年キーパー技術コンテスト」でも地区チャンピオン戦に、約430名中50名が女性。全日本チャンピオン戦では45名中6名の女性が勝ち抜き、約13%を占め、男性顔負けの高い技術力を身につけています。つい数年までは、キーパーコーティングも「男性の職業」と思われていたはず。なぜ女性が増えてきているのでしょうか。その答えを探るべく、キーパーコーティング技術資格1級を取得したコーティングウーマンたちのホンネを聞きました。

### キツそうだな、嫌だなとか思わなかった?

- いえ、むしろもっと働きたかったです。「作業=男性」というイメージなのか、店舗でいつも何もできない自分が悔しかったから。
- 最初から、今でも楽しいと思っています!
- 簡単なことではないので「体力的にはきついかも」と思いました。
- 体を動かすのが好きなので気になりませんでした。
- 楽しそう、やりたいな!と思ってました。

コーティングの作業は男性でも簡単ではありません。コーティングウーマンたちは、「キツいかも」という不安を超えて、そこに「楽しさ」を見出しています。「女性だから何もできない」と言われる悔しさを持っていた女性もいます。

### 実際やってみてどうだった?

- 車を早くキレイにできる方法があるんだとコーティングのイメージが変わりました。
- マニュアル通りに施工すると楽にキレイにできるようになった。こんなに簡単なら、お客様にご案内したいと思うようになりました。
- 正しくキーパーすることの大切さを実感しました。自然と収益も上がりました。
- 車が本当にキレイになっていくので、作業が大好きになりました。
- 慣れるまで時間がかかり、その間はつらかった。頭でわかっているのに、体が動かない…。でもこの時期にしっかりやっておくことで、技術が体に染み込みました。

はじめは慣れずに体力ばかり消耗して、うまくいかないことも。つらい想いをしながらも、マニュアル通りに施工してコツを覚えていけば、女性でもキレイに仕上がるのがキーパーコーティング。車がキレイになっていくのは女性も男性も同じく嬉しいものです。

### 女性が施工することに対して、お客様の反応は?

- 仕上がりはシビアに見られる気がします。でもその分きちんと仕上がっていれば、「細かいところまで行き届いているね」と褒められることが多いです。
- アフターフォローで「いつも丁寧してくれてありがとう」と言ってもらえます。
- キーパーの技術に求められるのは「力」じゃないので、「隅々まで見てくれて助かる」と言ってもらうことは多いです。
- お客様に「おお! 姉ちゃんも(キーパー)できるね!」とよく驚かれます。
- 女性=器用というイメージがあるように思います。

お客様にとって、男性女性どちらが施工しても関係ありません。大事なのは、お客様の想像以上の「キレイ」を提供できるかどうか。しかし女性には「細かいところまで丁寧にしてくれる」イメージを持っており、安心感と信頼感をもたらしていることが分かります。

### この仕事、楽しい?

- 施工が上手くなったり、早く施工できるようになった時、とても嬉しい。
- お客様にお引渡ししたときに「これ、私の車?」などと驚く方がたくさんいます。それほど喜んでくれるので楽しいです。
- キーパーする前と後のお客様の表情の変化、その反応を見るのが一番楽しいです。
- 車をキレイに仕上げたら、お客様が喜んで、また来てくれるのが嬉しい。
- 奥さまの車にクリスタルキーパーをしたら、ご主人が驚いて「俺の車もやってくれ」と来店されたり、お客様としっかりつながっていくので楽しいです。

台数を重ねるうちに、施工技術が達し、早く仕上がるという実感。その技術でお客様が予想以上に驚いてくれる反応。また来てくれたり、誰かを紹介してくれたり広がっていくお客様とのつながり。女性も活躍できる仕事、それがキーパーコーティングなのです。女性の活躍がこれからのキーパーコーティングの可能性を広げ、ますます多くのお客様に喜びを届けてくれるでしょう。



## 女性でも、コツをつかめば大丈夫! キーパーコーティングはお客様を笑顔にできるから楽しい!

「第3回 2016年キーパー技術コンテスト」地区チャンピオン決定戦、出場を果たした各地区の女性技術者たち!

